



校訓『誠健勤和』

富良野西中学校



樹人

《学校だより》

令和3年12月24日

12月号

不易と流行

校長 中川 季賢

1年間で一番長い2学期が無事終了となりました。生徒一人一人の心がけをはじめ、地域・保護者の皆様のご理解とご協力のおかげと感謝申し上げます。

ニュースで報じられていましたが、今年の漢字一字は「金」でした。東京オリンピック・パラリンピックのメダルラッシュ、大谷翔平選手や藤井聡太騎士など各界で数々の金字塔が建てられたことが要因のようです。

さて、今月は9月から延期となっていた学校祭を行うことができました。合唱コンクールと展示・絵画に特化した学校祭となりましたが、生徒の頑張りを多くの保護者の皆様にご覧いただけて良かったです。生徒たちは、当日に向けて「つなぐ」をテーマに3年生や各学年のリーダーを中心に、真剣に取り組んできました。まさにサブテーマの「つなげる過程・つながる想い」を意識して準備をしてきました。合唱では、審査員の一人として関わらせていただきましたが、すべての学級のレベルや完成度が高く、手前味噌になりますが、見事であったと思います。本校をよく知る方々が、西中の合唱は絶対になくしてはいけないとおっしゃっていた意味がよくわかりました。

学校では、よく「不易と流行」という言葉を用います。この言葉は松尾芭蕉が「奥の細道」の旅をする中で体得した概念だと言われています。「不易を知らざれば基立ちがたく、流行を知らざれば風新たならず」というものです。これは、いつまでも変化しない本質的なものを忘れない中にも、新しく変化を重ねているものをも取り入れていくことを意味します。今回の学校祭でみますと、これまで先輩たちが積み重ねてきた伝統を継承しつつも、自分たちで練習方法や歌い方を工夫しながら発展させてきたものと言えるのではないのでしょうか。まさに今回のテーマである「つなぐ」においてはただ受け継ぐだけではなく、今も発展継承させている姿を立派に見せてくれました。本校の生徒たちは見事にやり遂げ、今年も金字塔を打ち立てたと評価したいと思います。

明日から24日間の冬休みに入ります。例年より少雪・暖冬傾向が続いていますが、冬型の事故には十分気を付ける必要があります。また、新型コロナウイルス感染症も落ち着いているとはいえ、引き続き予防対策を続けなければなりません。健康・安全にはしっかり気を配りながらも2学期の疲れを癒やし、計画的に有意義な休みを過ごしてほしいと願っています。地域や保護者の皆様におかれましては、今後も生徒たちを温かく見守っていただき、本校の教育活動にご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。



「富良野市いじめ・ネットトラブル ZERO!」 メッセージコンクールで受賞

富良野市内から多くの応募があった標記コンクールにおいて、本校生徒が下記のとおり多くの賞を受賞しました。おめでとうございます。

本校は「ZERO 運動」発祥校として積極的に取り組んでいます。「いじめ ZERO」は全員の願いです。一人一人が「いじめは絶対にゆるさない」気持ちを持ち続けて行動することが笑顔で学校生活を送るために不可欠です。



【中学生 標語部門】

最優秀賞（個人）「育もう トラブルよりも 笑顔と LOVE」	穴戸 龍斗 さん（3-2）
最優秀賞（団体）「考えて 傷つく言葉の 境界線」	富良野西中生徒会
優秀賞 「ためないで あなたのなやみ はきだして」	瀬川 愛姫 さん（1-1）
奨励賞 「いつでもいい。辛くなったら打ち明けて」	大平 伸明 さん（3-3）
奨励賞 「大丈夫。ずっと味方でいるからね」	野村梨々愛 さん（1-2）

【ポスター部門】

最優秀賞 日向 楓花さん（3-1）

「絆づくりメッセージコンクール」上川管内審査で受賞

上記の富良野市内のコンクール結果に続き、吉報として上川管内でのコンクール結果が下記のとおり届けました。おめでとうございます。12月24日に富良野市内並びに上川管内のメッセージコンクールの表彰において、受賞生徒は、富良野市教育委員会教育長 近内栄一 様より賞状をいただきました。

【中学生 ことば・メッセージ】

最優秀賞（団体）「考えて 傷つく言葉の 境界線」	富良野西中生徒会
奨励賞 「その勇気で 誰かの心 救われる」	北村 花 さん（2-2）
奨励賞 「見てないで。絆の手を差し伸ばそう」	前中 昭人 さん（2-2）

【中学生 ポスター・メッセージ】

最優秀賞	坂本向日葵 さん（2-2）
奨励賞	菊地こころ さん（3-2）
奨励賞	日向 楓花 さん（3-1）



全道スキー大会プログラム表紙に 西中生作品掲載

1月13～15日に富良野スキー場で開催される「第54回北海道中学校スキー大会 アルペン競技」のプログラム表紙に、日向楓花さん（3-1）の作品が掲載されました。美しい描写はもちろん、ヘソ祭りや富良野スキー場も構成の一部になっており、表現力の高い作品です。このプログラムは全道各地から参加する学校に配布されます。



コロナ禍の中、保護者の皆様、地域の皆様には、本校の教育活動に対し、ご理解・ご支援をいただき誠にありがとうございました。これからも子どもたちのために学校と家庭、地域が連携して教育活動を行っていききたいと思います。来年もどうぞ、よろしくお願いいたします。

12月の西中

ZERO 運動月別目標
「自分からボランティア
に挑戦しよう」

月別 保健目標
「風邪の予防に
努めよう！」

感動!!素晴らしい歌声 会場に響き渡る — 第71回学校祭開催 —

12月17日（金）、第71回学校祭が開催されました。今年度も感染リスク低減のため、富良野文化会館において西中の伝統である合唱コンクールを行いました。学校祭テーマ「つなぐ～つなげる過程・つながる想い～」を達成するべく、どの学年・どの学級も真剣に練習に取り組みました。そして、当日、練習の成果を遺憾なく発揮し、全ての学年・学級が素晴らしい歌声をホール中に響き渡らすことができました。感動の一時をありがとう。とても実りの多い行事でした。



作：3年3組 星野 蓮さん



1-1 (最優秀賞)



1-2



2-1 (最優秀賞)



2-2



3-1



3-2 (最優秀賞)



3-3



3学年合唱

分散参観日

12月の第4週（20日～23日）に学級または学年ごとに分けながら参観授業を実施しました。12月17日に学校祭が終了したばかりにもかかわらず多くの保護者に来校いただき、子どもたちの授業での様子を参観してもらいました。どの学年の生徒も意欲をもって授業に取り組んでいました。これからも学習した内容を定着させるために教育活動を行っていきます。



アフスタ実施中

2学期の間、3学年連絡協議会が中心となり、生徒主体の企画で「基礎基本の定着」「自学自習の場の提供」を目指して放課後学習会を実施してきました。

新年を迎えると、3年生にとっていよいよ受験までカウントダウンとなります。3年生全員の希望進路実現を願っています。



表彰結果

○第40回全国中学生人権作文コンテスト旭川地方大会
優良賞 石川愛衣未 さん (3-3)

○第49回中学生作文コンクール

入選 廣嶋 涼 さん (1-1)

入選 向山 幸希 さん (1-1)

奨励賞 伊藤 彩心 さん (1-2)

奨励賞 片山 海琳 さん (1-1)

奨励賞 高田 怜 さん (1-2)



縦割り合唱

12月14日（火）、素晴らしい合唱コンクールにするため、縦割り合唱を行いました。今年度は体育大会が中止となったため、行事での縦割り活動は初めてになります。特に1年生にとって上級生の合唱を直に聞き、大きな衝撃と刺激を受けたことは、縦割り合唱終了後の練習を見て感じました。

今年度の学校祭テーマの通り、合唱における西中の伝統を、3年生から1、2年生につないだ瞬間だと感じました。



富良野西中学校では、「学習指導員」を募集しています。興味のある方は学校（TEL：22-2318）または富良野市教育委員会までご連絡ください!!

18 (火) 3学期始業式・表彰集会
19 (水) 3年学年末テスト
20 (木) 常任委員会
25 (火) 2年 道徳「性に関する指導」
スキー授業 (1-1)
26 (水) スキー授業 (1-2)
27 (木) スキー授業 (2-1)

28 (金) スキー授業 (2-2)
31 (月) スキー授業 (1 学年)



※12月29日（水）～1月3日（月）は学校閉庁日です。この期間で何かございましたら、富良野市役所（TEL：39-2300）にご連絡ください。
課業日に何かございましたら学校（TEL：22-2318）までご連絡ください。